

## 12 月 07 日：VN 指数は乱高下 (VN-Index -0.44%)

- VN 指数は前日の好調だった流れを引き続き、わずかながらも上昇して取引を開始した。
- その後、1 時間を経たずして市場は下落。売り圧力は納まらず、前場の引けにかけて下落幅は拡大した。
- しかし、午場は流れが一転。一時は前日終値を上回るほど市場は回復を見せた。結局、終値では前日比下落となったものの、200 日移動平均線を上回る水準を維持した。
- セクター別では銀行が最も買われた一方、石油ガス、金融サービスなどのセクターが最も売られた。
- 205 銘柄が上昇、289 銘柄が下落、95 銘柄は変わらずと、下落銘柄数が優勢だった。
- 流動性は大きく増加。売買代金は過去 1 か月で最多となり、27.4 兆ドン (+52.1%) を記録した。

### VN30 指数は相場全体を下支え (VN-30 +0.19%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、上昇が 13 銘柄、下落が 14 銘柄、変わらずは 3 銘柄となった。
- 最も上昇した銘柄は、最近好材料の出ていた MSN (+2.25%) だった。
- 一方、CVR (-2.88%)、GAS (-2.38%)、SSI (-2.23%)、PLX (-2.09%) が相場の足を引っ張った。

### セクター・個別株の動き

- HQC (+6.84%) はストップ高を記録。公共住宅大手である同社は、2023 年から 2030 年の間にかけて 15 兆ドンを住宅開発に導入する考えが示された。10 兆

ドンはホーチミン市の住宅建設および古いアパートの改修に、5 兆ドンはドンナイ省とロンアン省の住宅建設に用いられる計画だ。

- GAS (-2.38%) は、足元で天然ガス価格が下落していることが投資家たちに嫌気され下落。欧州ガスインフラの最新データによれば、欧州のガス貯蔵（在庫率）は 93.3%となっており、ガス需要の落ち着きが確認された。
- 外国人投資家は 8140 億ドンの売り越しとなり、7 営業日連続の売り越しとなった。銘柄別では VHM が売られていた一方、VCB には買いが集まっていた。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。